

平成 26 年 12 月 2 日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 宮 崎 俊 郎
(コード番号 6269 東証第1部)
問 合 せ 先 総務部長 小 林 晴 枝
(TEL. 03-5290-1200)

ペトロbras社ブラジル沖合 Tartaruga Verde 油田及び Tartaruga Mestiça 油田向け FPSO 受注内定

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:宮崎俊郎)は、ブラジルの総合建設会社 Schahin(シャヒーン)グループ(本社サンパウロ市)と共同で、ブラジルの国営石油会社である Petróleo Brasileiro S.A.(以下「ペトロbras社」、本社リオデジャネイロ市)より、FPSO(Floating Production, Storage & Offloading System:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)1基の建造及びチャーター契約の発注内示書を受領しました。

本 FPSO は、ペトロbras社が保有する BM-C-36 鉱区にある Tartaruga Verde(タルタルーガ・ベルデ)油田及び Tartaruga Mestiça(タルタルーガ・メスティサ)油田の開発プロジェクトに用いられます。

日量 15 万バレルの原油生産能力、日量 176 百万立方フィートのガス生産能力、日量 20 万バレルの水圧入能力、約 160 万バレルの原油貯蔵能力を持つ本 FPSO は、当社米国子会社の SOFEC, Inc. 社が設計する Spread Mooring(多点係留)と呼ばれる係留方式で、リオデジャネイロ州マカエ市南東方沖合約 125km、水深約 765m の海上に係留されます。本 FPSO は、2017 年第 3 四半期に現地に到着する予定です。

本 FPSO は、完成後に当社の関連会社が保有し、ペトロbras社に対し 20 年のチャーターサービス(リース及び運転・保守点検等のオペレーション)の提供を行います。

本件は、当社にとって 12 基目のブラジル向けプロジェクトとなります。当社は今後ともブラジルにおけるオフショア油田開発プロジェクトの参画に注力し、本件の共同応札者である Schahin グループと共にブラジルにおけるエネルギー産業の発展に寄与いたします。

三井海洋開発株式会社について

三井海洋開発(MODEC)は、海洋石油・ガス開発プロジェクトに用いられる浮体式海洋石油・ガス生産設備の建造、チャーター、オペレーション&メンテナンスサービスを提供する日本で唯一の企業です。
<http://www.modec.com/jp>